

12月 ふかよみめんちゃん



深堀保育園 R3.11.29発行

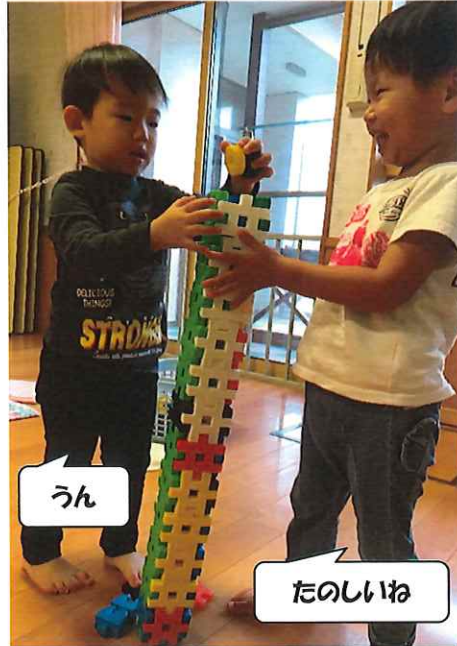
★うさぎ組 「いっしょ、いっしょ」



ほくも

おもしろいね

いっしょにあそぼう！



うん

たのしいね

一人遊びをじっくりと楽しんできた子ども達は、周りの子どもへと興味を広げ、「いれて」「かして」と自分の思いを言葉に出して伝えることができるようになってきました。最近では、「〇〇ちゃん一緒に遊ぼう」「これ一緒に使ってもいいよ」などまた一つレベルアップ。しかし、周りの子どもとの関わりが深まる分、思いが衝突したり、すれ違ったりする姿も出てきました。トラブルが起きた際は、思いを受け止め、認め、双方の思いを大切にしながら、事態を収めることを優先せず、納得のいく解決方法を一緒に考えながら、具体的な対処方法や相手の思いを言葉にして伝えて、子どもの関わりを仲立ちし、一緒に遊ぶことの心地よさや楽しさを感じられるように繰り返し援助しています。まだまだ、気持ちがぶつかることが多いですが、楽しく充実した遊びの中で、子どもの「いっしょに」の気持ちに寄り添いながら、玩具の貸し借り、順番などの簡単なルールに気付けるような関わりをもち、更に”一緒に遊ぶってたのしいね”を味わえるようにしていきたいと思います。

この遊びから育つものは、人間関係・周りの子どもや物への興味
関心・言葉のやり取りです。一緒に嬉しいね



★ぱんだ組 「お山作ろう」



やろう、やろう

もようをつけたいの

木の棒をうめたいな

お山作ろう！



こんなかんじかな？

みんなでおおきくしよう

友達とイメージを共有して同じ遊びをするようになり仲間意識が高くなってきた3歳児。「お山作ろう」「うん、作りたい」という声から、みんなで一つの砂山を作り始めました。今までは自分が主だったところから、一つの目的に向かって友達の意見を受け入れながら遊べるようになってきました。また3歳児の遊びに興味を示した4、5歳児へI君が今どんなことをしているのかを説明し、4、5歳児を遊びの中に入れてあげていました。友達の意見を受け入れながら自分達で一つの目的に向かって達成しようとする姿、今何をしているのか、きちんと言葉で説明し伝えられるようになった姿に成長を感じました。その姿から就学に向けての互いの思いや考えを共有し共通の目的の実現に向け、工夫したり協力したりし、充実感をもってやり遂げる力、言葉による伝え合いの力につながる芽が育ってきていると感じ嬉しく思いました。まだまだ、言葉足らずなところがありトラブルになることもあります。そうした機会を通して友達の気持ちに気づけるようにしていきたいです。そして友達と親しみを深め工夫したり協力したりして一緒に活動する楽しさを味わえるようにしていきたいです。

自分達で1つの目的に向かいイメージを言葉で表現し伝え合い遊びを進める力が育まれています。みんなでワクワク楽しいね